



平成31年2月12日

各 位

会 社 名 アピックヤマダ株式会社
 代表者名 代表取締役社長 押森 広仁
 (コード番号 6300 東証第二部)
 問合せ先 取締役企画部長 小出 篤
 (TEL. 026-275-2111)

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績の動向等を踏まえ、平成30年10月26日に公表した平成31年3月期（平成30年4月1日～平成31年3月31日）の通期業績予想を下記のとおり修正いたしますのでお知らせいたします。

記

1. 連結

平成31年3月期 通期業績予想数値の修正（平成30年4月1日～平成31年3月31日）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	11,350	40	60	5	0.40
今回修正予想 (B)	10,000	△ 440	△ 420	△ 460	△ 37.04
増減額 (B - A)	△ 1,350	△ 480	△ 480	△ 465	
増減率 (%)	△ 11.9	—	—	—	
(ご参考) 前期実績 (平成30年3月期)	12,665	292	248	46	3.72

2. 個別

平成31年3月期 通期業績予想数値の修正（平成30年4月1日～平成31年3月31日）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	10,000	△ 100	△ 80	△ 150	△ 12.08
今回修正予想 (B)	8,550	△ 550	△ 530	△ 600	△ 48.31
増減額 (B - A)	△ 1,450	△ 450	△ 450	△ 450	
増減率 (%)	△ 14.5	—	—	—	
(ご参考) 前期実績 (平成30年3月期)	11,006	136	142	42	3.42

修正の理由

第3四半期連結累計期間につきましては、上半期で影響を受けた一部の装置部材の調達難は解消したものの、設計において調達難の部材の代替品への切り替えのための設計変更や、新規設計が必要な受注の増加等から発生したボトルネックに起因した納期遅れが、前回業績予想修正時の平成30年10月26日には第3四半期に解消できる見込みでありましたが、新機種の開発負荷が増加した等の要因から解消できず、納期が例年よりさらに第4四半期に集中してしまいました。このため、本来第4四半期に予定された製品の納期も後ろ倒しせざるを得なくなっております。また、半導体価格の下落と米中貿易戦争の長期化懸念等により、新ラインの稼働や工場建設の延期が発生しており、納入の先送り要請が前回業績予想時に比して増加してきています。さらに第3四半期に想定した受注が前述の受注環境の悪化から予想を下回るとともに納期が翌期に回される受注が多く、このため売上は前回予想を下回る見込みとなりました。

また、売上の下回りとともに、納期の長期化により利益率の高い大型機の売上が、前回業績予想時よりも今期中に売上となる台数がさらに少なくなる見込みとなることから、利益も前回予想から下回る見込みとなりました。

(注) 上記に記載した予想数値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の業績等は、業況の変化等により、上記予想数値と異なる場合があります。

以上